

南さつま河川・海岸環境保全対策協議会

水辺環境の保全を

南さつま河川・海岸環境保全対策協議会(上東 総会を開き、河川・海岸 信義会長は21日、南さ 愛護普及啓発看板設置な つま市加世田の南さつま



新年度事業計画を決めた総会
＝南さつま市加世田の南さつま商工会議所で

19年度通常総会

計画を決めた。 同組織は、南さつま市 地域の河川・海岸環境を 保全創出し、河川・海岸 の適正利用や愛護思想の 普及啓発活動を進めると 同時に、恵み豊かな自然 を将来へ継承することな どを目的に、22関係団体 に より平成14年8月に「河 川・海岸環境保全対策協 議会」として設立。その後、 年次的に各種団体や個人 企業などからの協賛・協 力を取り付け、18年7月 に現名称に改称。現在、 37の関係団体に構成す。 冒頭、上東会長が「活 動を通じ、これからの維 持・保全に努め、後世に 豊かな自然環境を残して

九友会・第100回記念式典 九州全体の融和と協調を 九州各県から関係者70人出席

九州各県の瓦工事業 業所で構成する九友会 (同野文明会長)の第 100回記念式典が22

水園で開かれた。九州 各県から関係者約70人 が出席し、会員相互の 情報交換等を推進して、 九州全体の融和と協調 を図っていくことを誓 い合った。司会は、県 瓦工事業組合の池堂龍 一理事長を務めた。 式典では初めに、開 催県を代表し原口修二 県瓦工事業組合副理事 長(原口高正氏)が 開会宣言。続いて、河 野会長が昭和48年創立 以来33年を迎えた会 の歴史を振り返り、「さ まざまな困難を乗り越 えてこれたのも、先人 たちの努力のおかげだ

と感謝している。今 後も、相互の情報交換 等を積極的に進め、会 のさらなる発展向上に 向けた取り組みを推進 していきたい」と挨拶 した。 引き続き、来賓の山 田勝雄(全日本瓦工事業 連盟理事長、門司中生 九州屋根工事業協会の 会長)が「会員が一致団 結し、互いに発展してい くことを祈念します」 などと、それぞれの立 場から祝辞を寄せた。 また、九州各県にお ける幹事会員に対する表 形式も行われ、これまで の功績を称え、事業 所に河野会長から感謝 状と記念品が贈呈され

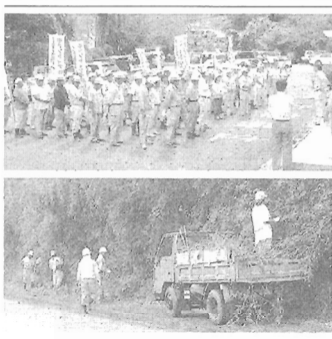
また、式典終了後は、 大河ドラマ「篤姫」の 時代考証を担当するな ど幅広い分野で活躍中 の鹿児島大学法文学部 の原口泉教授を講師に 「篤姫と指宿」と題し た記念講演も行われ た。 表彰者は次の通り。 薩南工業(鹿児島県 県) 横田瓦工業(鹿 本県) 柳やね匠(長崎 県) 熊渡商会(佐賀 県) 柳ユウカワラ (福岡県) 三信建 社(大分県) 官崎県メ ント工業(宮崎県) 南さつま市加世田

志布志市ふるさと協議会松山支部 部長、(株)イケタ・11社 は10日、毎年恒例の松山 町内の県道等で草刈い

若葉学園と交流 そうめん流しに舌鼓



若葉学園と交流



やぶ払いなどの清掃作業に精を出す 参加者＝志布志市の松山町内で

いこう」と挨拶。また、 来賓の坂口一郎(南さつま 市副市長、石井博美(南さ つま市議長、南薩地 域振興局農林水産部の南 新五部長)らがそれぞれ祝 辞を述べた。 ③吹上浜美化活動と工作 教室実施要領④万之瀬川 よび収支決算報告、19年 度事業計画案ならびに収 支予算案を審議し、全会 一致で可決承認した。 19年度事業計画は、① 河川・海岸の環境保全、

美化、愛護思想の普及啓 発、環境フェアパネル展 示実施、河川愛護運動月 間普及啓発、広報紙およ び同看板設置など、②環 境の森整備事業実施要領 ③吹上浜美化活動と工作 教室実施要領④万之瀬川 よび収支決算報告、19年 度事業計画案ならびに収 支予算案を審議し、全会 一致で可決承認した。 19年度事業計画は、① 河川・海岸の環境保全、

石橋記念公園、入園者100万人を突破 森さんが幸運射止める

日、100万人を突破 したことから、同市浜 町の同公園 石橋記念館 ガイダンス ホールで記 念セレモニ を開催し た。100 万人目とな った森倫太 郎さん(大 阪府阪南中 学4年) は、突然の 幸運に喜び を隠さない



花束を受けた森さん 中央から＝鹿児島市の 石橋記念館で

官井寛石橋記念館長や 同公園の管理・運営な どを行っている指定管 理者のセイカグループ (セイカスホールセン ター、南日本総合サー ビス、井上総合緑化建 設)の代表者ら関係者 約20人が出席。冒頭、 井館長が「平成12年の 開園以来多くの皆さん に利用されてうれしく 思います。今後もしも 公認で、このような記 念に立ち合うことがで きてびっくりです」と 興奮隠し切れない様 子だった。

志布志市ふるさと協議会松山支部 清掃ボラ総勢130人が参加

「ごみ拾いなどの清掃奉仕 作業を行い、地域住民や 町関係者から感謝され た。参加企業は次の通り。 (株)イケタ (株)大迫建設 (株)加世田建設 (株)半下石 建設 佐藤建設(株) 瀧田 建設(株) (株)中村工務店 (株)松原建設(株)今井水道 工事(株) (株)永田建 設

た作業中に、住民から冷 たいお茶などの差し入れ があり、参加者は喜んだ。 参加企業は次の通り。 (株)イケタ (株)大迫建設 (株)加世田建設 (株)半下石 建設 佐藤建設(株) 瀧田 建設(株) (株)中村工務店 (株)松原建設(株)今井水道 工事(株) (株)永田建 設

若葉学園と交流 そうめん流しに舌鼓

若葉学園と交流 そうめん流しに舌鼓